

日本競輪学校第102回生徒展示訓練出走表

平成24年1月30日(月)

京王閣競輪場

出場予定選手:1月27日現在

1R 先頭固定競走 1625m 4周

競走成績は1月27日現在

車番	生徒番号	氏名	年齢	府県	ギヤ倍数	着順	1着	2着	3着	着外	出走回数	平均順位	平均点	S回数	H回数	B回数	出身校	紹介
1	5	マツオ トモカ 松尾 智佳	23	愛媛	3.33		2	10	10	16	38	12	75.94	0	0	1	私立 松山大学	入校前はエキシビジョンレースとして実施されていたガールズケイリンで活躍。小柄で派手さはないものの、その小さな身体から溢れんばかりの闘志を出し、ガールズケイリンで養った堅実なハンドル捌きで上位を脅かす。
2	28	オノウエ アキコ 尾上 明子	42	愛知	3.33		1	5	9	21	36	17	75.00	0	0	0	県立 松阪高校 (国立 岡山大学中退)	入校前はロードレース・トラックレースを趣味とし、自転車競技からプロの道へ来た。その経験からレース動も良くここぞと言う時の集中力は素晴らしいものが見られる。あと少しの地力UPがあれば大きく飛躍する！
3	10	ノグチ ユミカ 野口 諭実可	19	群馬	3.27		0	4	4	28	36	26	72.30	1	1	0	私立 常磐高校	今回生中、最年少の適性組として入校。中学では水泳をしていたが、高校時代の運動歴はなく、苦勞しながら一生懸命自転車に取り組んでいる姿は他の生徒の模範になりうる存在だ。持久力は抜群だけに、ダッシュ力の強化を図れば今後の活躍が多いに期待できる。
4	14	モリ ミキ 森 美紀	27	岡山	3.27		0	1	2	25	28	28	71.75	3	10	1	国立 北九州工業高専	北九州工業高専時代には高専ロボコンで全国優勝の経歴を持ち、また1児の母でもある。小柄で華奢な印象だが芯は強く勝負ごとに向いている。スプリンタータイプで、切れ味あるカマン先行が信条。幼い息子の声援に励まされゴールを目指す。
5	17	コンナイ チアキ 近内 稚明	21	福島	3.29		0	1	1	18	20	27	72.00	0	3	0	県立 岩瀬農業高校 (私立 環太平洋大学中退)	東日本大震災で被災したが、内に秘めた闘志を胸に頑張っている。学生時代は、個人追い抜きで活躍、JOC1位やアジア選手権3位の成績を残す。被災地の夢と希望を背負い得意の先行でゴールを目指す。
6	11	コシタ エミコ 越田 恵美子	36	石川	3.43		0	0	1	33	34	32	70.23	0	0	0	県立 金沢泉ヶ丘高校	介護士をしながら自転車競技に打ち込み、一昨年までのガールズケイリンにも度々出場した。スプリント力はなかなかのもので、基礎訓練では好タイムを叩き出す。持ち前のスピードで上位陣を打ち負かせ。
7	31	タナカ マイミ 田中 麻衣美	29	新潟	3.33		3	0	4	31	38	25	72.92	0	0	1	私立 新潟青陵高校	エステティシャン・ブライダルモデルと経歴は異色。その美貌からは想像出来ないほどの努力根性を持っている。今はまだ「上位」とは言えないがこの気持ちを持ち続ければその領域にも十分通用する！「輪界のprincess まいみん」に期待！

2R 先頭固定競走 1625m 4周

車番	生徒番号	氏名	年齢	府県	ギヤ倍数	着順	1着	2着	3着	着外	出走回数	平均順位	平均点	S回数	H回数	B回数	出身校	紹介
1	3	ナカムラ ユカリ 中村 由香里	30	東京	3.40		31	7	0	0	38	1	80.52	14	8	21	国立 大阪教育大学	小学校の先生をする傍らアマチュア自転車競技で活躍。ガールズケイリン開始の報に触れ競輪界に転身した。学業優秀、競走訓練は現在1位、基礎訓練では常にエリート候補班に在籍し、隙を見つけるのは難しい。すべてにおいて常にトップの成績を慕進中だ。
2	35	ミワ シノ 三輪 梓乃	19	広島	3.43		4	15	7	12	38	8	77.00	3	3	6	県立 岩国商業高校	父は元競輪選手(直弘・66期引退)。綺麗なフォームと滑らかなペダリングは父親譲りか…。入校後、小さな身体がだんだん大きくなり力強さも増し、伸びしろは無量大。中国地方の小さな大砲に期待する。
3	13	カセ カナコ 加瀬 加奈子	31	新潟	3.43		6	1	0	0	7	2	79.71	1	5	5	私立 順天堂大学	トライアスロンから転向。トラック競技を始めて2年に満たないが、めきめきと実力を付け、今や日本のトラック女子中距離界のエースだ。夢は賞金女王になることとロンドンオリンピックのオムニアムで表彰台に上がる事。
4	27	コバヤシ リコ 小林 莉子	18	東京	3.43		8	9	10	9	36	8	77.00	31	22	17	私立 東海大菅生高校	高校時代はソフトボールで活躍。競走訓練開始当初から先行にこだわり、素早いS取りからの突っ張り先行が得意。先行一本でのこの結果は素晴らしい限り。年令も若く、将来が楽しみな選手。
5	8	アラマキ サトミ 荒牧 聖未	21	栃木	3.36		20	10	6	2	38	3	79.36	15	11	18	私立 東京女子学院高校 (私立 日本体育大学 中退)	小学校から社会人(西武)までアイスホッケーで活躍し、日本代表に選ばれた実績を持つ。父(友一・39期・引退)の後ろ姿を見て輪界入りし、自転車経験は少ないがアイスホッケーで鍛えた強靱な身体を活かし在校上位を争う。今後の成長が非常に楽しみだ。
6	18	ゴカン ユリア 後閑 百合亜	19	東京	3.40		1	9	6	15	31	15	75.70	1	1	0	私立 日出高校	本格的に自転車に乗り出してからまだ1年半。父(信一・65期)の資質を受け継ぎ、みるみる力を付けてきた。第1回トーナメントでは決勝2着に入った。荒削りな部分も残っているが実戦向きでゴール前大外強襲もある。
7	34	マシモ 増茂 るるこ	20	東京	3.43		6	10	9	13	38	10	76.42	8	2	6	都立 東久留米総合高校 (私立 東京女子体育大学休学)	自転車経験は約1年。持ち前の負けん気と真面目な性格で着実に力を付けてきた。経験値を考えれば素晴らしいスピードと安定感を持っている。この先の訓練次第では今回生No.1になることも難しくない！

※ 6レース終了し7レース選手紹介後1個レース、7レース終了後8レース選手紹介終了後1個レース実施いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。